

昭和60年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿
(五十音順)

〔 個 人 〕

大橋^{おおはし} 和子^{かずこ} (愛知県南設楽郡鳳来町)
大前^{おおまえ} 晃一郎^{てるいちろう} (岐阜県益田郡馬瀬村)
久保^{くぼ} 倉利^{くらとし} (三重県飯南郡飯高町)
中島^{なかしま} 誠一^{せいいち} (広島県比婆郡西城町)
村田^{むらた} 甚作^{じんさく} (石川県鳳至郡穴水町)

〔 団 体 〕

内山地域老人クラブ連合会 (長野県佐久市)
株式会社ブリヂストン^{あまぎ} 甘木工場 (福岡県甘木市)
木屋平村林業推進会^{こやだいらそん} (徳島県美馬郡木屋平村)
財団法人足利市緑化推進協会 (栃木県足利市)
島田市花の会 (静岡県島田市)
知床100平方メートル運動推進本部 (北海道斜里郡斜里町)
八戸市を緑にする会^{はちのへ} (青森県八戸市)
前橋市公園愛護会連合会 (群馬県前橋市)

〔 学 校 〕

青森県立名久井農業高等学校^{な く い} (青森県三戸郡名川町)
下松市立米川小学校^{くだまつ よねがわ} (山口県下松市)
栃木県立宇都宮中央女子高等学校 (栃木県宇都宮市)
本庄市立石沢中学校^{ほんじょう いしざわ} 緑の少年団 (秋田県本荘市)

〔 地方公共団体 〕

豊橋市^{とよはし} (愛知県豊橋市)
兵庫県 (兵庫県)
布施村^{ふせ} (島根県隠岐郡布施村)

[個人]

氏 名	おおはし かずこ 大橋 和子
住 所	愛知県南設楽郡鳳来町
功績の概要	氏は、昭和25年に山林経営を受け継いで以来、「山は社会からのあずかりもの」との理念のもと、卓越した研究心と旺盛な実行力をもって常に新しい知識や技術を導入し、近代的林業経営者として、また、森林づくりにおける地域の指導者として高い評価を受けている。 さらに、「1本1本の木は子供を育てるのと同じような気持ちで育てる」との信念を持ちつつ、豊富な経験と知識をもって地域婦人グループ、林業研究グループの育成強化に努めるなど、その幅広い活動は地域のみならず県外においても高く評価され、林業経営、森林づくりを通して緑化の推進に多大の貢献をしている。

[個人]

氏 名	おおまえ てるいちろう 大前 晃一郎
住 所	岐阜県益田郡馬瀬村
功績の概要	氏は、大正14年以来自己の所有する山林の計画的な造林に取り組む一方、昭和26年から54年まで馬瀬村長として、種々の地域緑化推進策を講ずることにより地域林業の振興に尽力した。 特に、岩屋ダム建設に伴う利水者等からの特別負担金を基金とし、これを財源として水源涵養林造成事業を推進する制度を昭和48年に創設し、これは「岐阜県木の国運動」へと発展するなど、全国的にも水源涵養林基金制度の先鞭的役割を果たしたものとして高く評価されるものである。

[個人]

氏 名	く ぼ くらとし 久保 倉利
住 所	三重県飯南郡飯高町
功績の概要	氏は、昭和22年から健全な森林づくりのため枝打ち、間伐等の育林の重要性を説き、自ら幾多のアイデアを試行するなかで、特に枝打用梯子については改良一本梯子を考案、枝打用ナタについては「飯高型」を考案し、これらは今日各地で広く利用されている。 また、品種改良から育林技術全般にわたって研究と試行を繰り返すなかで、植栽木の根曲がり防止対策、林道・作業道の路面保護等の研究・実証に努めるとともに、育林技術を中心に地元はもとより県外までその普及・指導に努め、技術の向上と人材の育成に尽力している。 こうした活動を通して、地域森林づくりの推進に多大の貢献をしている。

[個人]

氏 名	なかしま せいいち 中島 誠一
住 所	広島県比婆郡西城町
功績の概要	氏は、戦後荒廃した郷土の緑化の必要性を痛感し山村の復興に努めていたが、昭和31年、地元で県有林が設定されたのを機に、以後常に植林のリーダーとなり地域の森林づくりの推進に尽力した。 また、町内青年グループ等への指導、援助を通じて林業後継者の養成確保に尽力するとともに、自らも常に新しい林業技術の導入を図るなど、旺盛な研究心を持って現在も高齢ながらも技術の普及・指導等に積極的に努めている。 こうした氏の多年にわたる森林づくりに対する熱意と努力、そして実践活動により、地域は県下有数の造林先進地になるなど、その活動は健全な森林づくりの推進に多大の貢献をしている。

[個人]

氏 名	むらた じんさく 村田 甚作
住 所	石川県鳳至郡穴水町
功績の概要	氏は、昭和38年以来地域の環境緑化を率先して実践し、自ら育てた草花苗を地区民に無償配布する一方、子供会、学校、官公庁、事業所等へとその配布活動を広げ、その数はこれまでに約17万本に及んでおり、なお活発な活動を展開している。 特に国鉄中居駅及び穴水駅構内に花壇を設置し、四季を通じて花づくりに努力するとともに、在職していた小学校での花壇づくりや「四季の花づくり」と題する講演会資料を各施設等に配布するなど、常に地域の先頭に立った花と緑の環境づくりに対する功績は高く評価されるものである。

[団 体]

名 称	内山地域老人クラブ連合会
所 在 地	長野県佐久市
代 表 者	会長 小須田 愛太郎
功績の概要	同連合会は、結成以来「より良い地域社会づくり」を理念とし、その活動の中心にコスモスづくりを掲げ、会員が互いに励ましあいながら、国道254号沿線約10kmにわたりコスモスの植栽管理を続けており、いまでは同沿線は「コスモス街道」と呼ばれるまでになっている。 また、この活動は他地域にも及び、市内各所にコスモスが咲き乱れるようになったほか、昭和56年には「市花コスモス」が制定されるまでになった。 同連合会の活動は、コスモスを通じて市民に密着した花と緑のある地域社会づくりの中心的存在となっており、その功績は高く評価されるものである。

[団 体]

名 称	株式会社ブリヂストン あまぎ 甘木工場
所 在 地	福岡県甘木市
代 表 者	工場長 所 鋭
功績の概要	同工場は、建設当時から「人と自然を大切にする心情を大事にする」との理念に基づき、鎮守の森の中の工場の創出をめざし、従業員の手造りによる小公園の設置等積極的に工場緑化を推進している。 特に、工場周辺の幅15mのグリーンベルト、並木道の整備、空地への樹木・花き等の積極的植栽など、従業員を中心に工場ぐるみで四季折々の変化のある、野鳥の絶えない森のベルトづくりをめざし、活動を展開している。 また、周辺地域に対する苗木の配布、植栽指導とともに、各種施設の開放等を通じ、緑豊かな地域づくりに多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	こやだいらそん 木屋平村林業推進会
所 在 地	徳島県美馬郡木屋平村
代 表 者	会長 梅津 俊久
功績の概要	同会は、戦後の若い造林地が８割以上を占める村の林業経営の合理化と地域林業の振興、発展を図る母体として、昭和43年に全村一体となって約170名の会員で組織された。 以来、集団施業による組織的、計画的な森林づくりをめざし、視察・研究を重ね、展示林・試験林の設定、育林技術や林業経営の新しい考え方の導入、施業団地ごとの固定索道の設置、集団間伐の計画的推進等を実施するとともに、後継者の育成指導に努めるなど、過疎地における地域林業の振興、活性化を図り、地域の森林づくりの推進に多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	財団法人足利市緑化推進協会
所 在 地	栃木県足利市
代 表 者	理事長 近藤 武恒
功績の概要	同協会は、「花とみどり」を育てて風格のあるまちづくりをめざすため、市民自ら会費を出し合って結成された会員制団体である。 現在、個人、法人等約5,500の会員（市の世帯数の約12%）が加入しており、家庭、地域、公共施設の一体的な環境緑化を行う「まちぐるみグリーン作戦」や学校等への緑化推進券の発行、花木の無償配布、技術指導、緑化相談、さらには財団法人化のきっかけとなった都市緑化基金の運営まで幅広く活動を行っており、緑を通じて市と市民が一体となった街づくりの理想を体現したものとして、その功績は高く評価されるものである。

[団 体]

名 称	島田市花の会
所 在 地	静岡県島田市
代 表 者	会長 加藤 つな
功績の概要	同会は、発足以来花いっぱいの環境づくりをめざし、市内各所の施設等を中心に環境緑化・美化活動を積極的に展開している。 現在約700名の会員は、「奉仕こそいきがい」の信条のもとに、草花の育苗、植栽、管理のほか、学校、公共施設、一般市民への配布等市内全域において活動しており、特に桜堤、コスモス堤及び島田駅前の朝顔通りは会員の熱意と努力の活動の成果であり、市民に親しまれている。 同会は、名実ともに「花と緑のある街づくり」の中心的存在として、その功績は高く評価されるものである。

[団 体]

名 称	知床100平方メートル運動推進本部
所 在 地	北海道斜里郡斜里町
代 表 者	会長 船津 英雄（町長）
功績の概要	同本部は、発足以来知床五湖周辺の開拓離農地を乱開発から守るため、一口100平方メートル単位で拠金を募り、現在まで全国の約2万人の協力により、約320ヘクタールの土地を買い上げ、シラカバ等を植林して原始の姿への復元を図りつつある。 同本部の運動は全国的な共感を得て展開されており、自然環境における緑の保全・創出の観点からも画期的な意義を有するものであり、その活動は高く評価されるものである。

[団 体]

名 称	はちのへ 八戸市を緑にする会
所 在 地	青森県八戸市
代 表 者	会長 於本 功
功績の概要	同会は、産業の急激な発展による緑の減少に立ち向かうため、市民が自発的に集い結成され、「創ろう、守ろう、緑のまち」をスローガンに、これに賛同する市民の協賛を得て、町内会から全市的レベルに至る幅広い活動を積極的に展開している。 特に、花壇コンクール、作文コンクールによる緑化思想の普及啓発、ハマナス群生再生運動の展開、各種緑化行事等の実施等、緑を通じたコミュニティの形成に大きな成果をあげており、これらの活動は緑豊かなまちづくりの推進団体の模範として、高く評価されるものである。

[団 体]

名 称	前橋市公園愛護会連合会
所 在 地	群馬県前橋市
代 表 者	会長 山本 六十二
功績の概要	同連合会は、戦後唯一残った敷島公園の緑をきっかけに、昭和29年結成された同公園愛護会の活動に共鳴して各所で結成された愛護会の連合体として、昭和47年に組織されたもので、現在同市都市公園数とほぼ同数の131の愛護会が加入している。 同連合会では、個々の愛護会の積極的な公園緑地の維持管理活動を通じ、子供から高齢者まで一緒に汗を流すことによって、緑とのふれあい、コミュニティの形成をめざしている。 これらの活動は、公園の緑を守り育てる公園愛護会活動の全国的なモデルとして、また連合会活動のモデルとして高く評価されるものである。

[学 校]

名 称	なくい 青森県立名久井農業高等学校
所 在 地	青森県三戸郡名川町
代 表 者	校長 工藤 俊雄
功績の概要	同校は、開校以来全校挙げて「自主・責任」を柱に学校緑化活動を推進している。 特に、昭和46年の校舎移転に伴い、学校環境緑化計画を立案し、教員、生徒が一体となった継続的な緑化実践活動により、校内の緑の創出を図っており、学校環境緑化のモデル校として他校の模範となっている。 また、地域に対しても環境緑化・美化のキャンペーンを実施し、花壇づくり等の実践のほか講習会、公開講座、緑化相談、そして老人クラブ、婦人会、子供会への各種支援等学校ぐるみで地域緑化の推進に貢献しており、これらの活動は高く評価されるものである。

[学 校]

名 称	くだまつ よねがわ 下松市立米川小学校
所 在 地	山口県下松市
代 表 者	校長 石川 昭治
功績の概要	同校は、古くから学校林活動を推進しているが、特に昭和26年からは造林から保育管理に至る学校林施業に積極的に取り組み、これまでに県学校植林研究校に指定され、また地域住民の発意から米川地区教育造林振興会が結成される等、児童・教師・地域が一体となって学校林活動を展開している。 長年にわたり育てられてきた学校林は地区民連帯の象徴ともなり、学習・教育実践の場として、また各方面との交流の場として、そして地域林業の模範林として、幅広く活用されており、緑化教育の推進とともに、地域緑化の原動力となって、緑豊かなやまづくりの推進に多大の貢献をしている。

[学 校]

名 称	栃木県立宇都宮中央女子高等学校
所 在 地	栃木県宇都宮市
代 表 者	校長 河村 卓治
功績の概要	同校は、昭和31年の移転を機に、職員、生徒、父兄が一体となって荒地であった校地の緑化に励み、現在緑豊かな庭園美を誇る学校環境緑化の模範校となっている。 特に、「自然を愛し、豊かな情操を養い、文化の創造につとめる。」という教育目標の具現を図るため、緑化・美化活動等をはじめ緑化施設全体の維持管理を教育計画の中に明確に位置付けるとともに、教育的に空間を利用するよう設計・造成活動に当たるなど、緑の創出に主体的、組織的に取り組んだ活動は、高く評価されるものである。

[学 校]

名 称	ほんじょう いしざわ 本庄市立石沢中学校 緑の少年団
所 在 地	秋田県本荘市
代 表 者	校長 奥村 正居
功績の概要	同校緑の少年団は、昭和26年以来全校あげて取り組んできた学校造林活動をより高めるため、昭和52年に結成され、自治・協力・勤労を「三つの輪」とした活動を展開している。 春の入学記念植林、秋の育林活動などとともに学校、地域そして親と子が一体となって、長年にわたる森林づくりに努め、自然とのふれあい、地域における緑化・美化活動、また地域の婦人会、老人クラブとの積極的な交流を通じ、ふるさとを愛する豊かな人間性の形成に努めるなど、その堅実な活動は、緑の少年団活動の模範となっており、地域の緑化の推進に多大の貢献をしている。

[地方公共団体]

名 称	とよはし 豊橋市
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者	市長 高橋 アキラ
功績の概要	豊橋市は、戦後の復興事業から一貫して緑化を強力かつ着実に推進し、近年では全国でも有数の「緑のまち」といわれるまでになった。 同市では、自然的社会的条件をいかした公園づくりのほか、緑化推進基金の造成、苗木の配布等、都市緑化の推進に力を入れているが、特に街路樹の自然樹形仕立の実施は街路樹が都市景観の向上に果たす役割を再認識させ、その後の全国の街路樹の在り方に大きな示唆を与えた。 のびのびと枝を伸ばした樹木による美しい街並みづくりは、今後ますます全国に広がっていくであろうが、豊橋市がその模範として果たした功績は高く評価されるものである。

[地方公共団体]

名 称	兵庫県
所 在 地	兵庫県
代 表 者	知事 坂井 時忠
功績の概要	兵庫県は、緑が潤いのある生活の基本であるとして、昭和48年度から「兵庫県花と緑の基本計画」を定め、特に54年度から57年度までをその中期計画期間とし「ひょうご1000万本植樹大作戦」を展開し、1,300万本の実績を達成した。さらに、昭和58年度から「全県全土公園化構想」を策定し、「一億本植樹植林大作戦」（58～61）の一大県民運動を展開中である。 県が率先して緑化の目標を定め、市町村とともに地域の緑化事業に取り組み、県民総ぐるみで緑を中心に潤いのある地域づくりを推進していることは、地域の実情に即した緑化運動の在り方の範に足るものであり、その功績は高く評価されるものである。

[地方公共団体]

名 称	ふ せ 布施村
所 在 地	島根県隠岐郡布施村
代 表 者	村長 大田 正春
功績の概要	同村は、離島で過疎に悩む村の活性化を図るとともに、都市住民に緑のオーナーとしての夢を与え、心のふる里の場を提供することをねらいとして、昭和51年に全国に先駆けて分収育林制度を導入し、村有林を活用した都市住民参加による「ふる里の森」づくりを開始した。 同村は、村有林の経営を通じ、地域の森林づくりの担い手育成を図りながら、農山村と都市との連携・共同による文字どおりの「ふれあいの森林」づくり第1号として、今日全国で行われている都市住民参加の森林づくりの模範となり、その先導的役割を果たしている功績は誠に多大である。